令和６年度　施設評価会議報告書

令和７年３月

認定こども園さめ保育園

【保護者アンケート結果報告】
（提出率９４．１％）
園内行事や地域行事への参加等、子ども達が主体的に活動できる環境構成を見直し、実行することが出来た。
保育園祭りは三社大祭と重ならず涼しくなった時間帯に開催でき、お店屋さんごっこの他にかき氷や焼きそば等の飲食コーナーも好評だった。
運動会、発表会、保育参観も同様に、開催時期、時間帯、内容に関しても概ね良かったとの事、また「園での様子を知ることが出来てよかった」「子どもの成長が見れて嬉しかった」等の声が寄せられ大変好評価をいただいた。引き続き、保護者の不安や質問に丁寧に応え、園への要望や不満等を気軽に話せるような関係の構築に努めていきたい。

【職員自己評価報告】
保育の計画性では園の教育理念や教育方針等の理解等に努めた上で、指導計画を作成し、評価と反省を行い、保育者の援助や環境構成の工夫、見直しを図り指導力の啓発に努めた。また認定こども園として、地域で子育て支援を行う役割を理解し、教育・保育・子育て支援のさらなる充実を図ってきたが少子化の影響もあってか、未就園児を対象にした「さめっこ広場」では参加者が多いとは言えなかったため、広報の仕方等、次年度はさらに工夫が必要だと考える。
職員は保育者としての専門性を高めるために積極的に研修に参加し専門知識を学び、研修で学んだ事を園内研修という形で他の職員とも伝達、共有することが出来た。また、子ども達が主体的に活動できるような環境構成、行事の在り方について考え、工夫し園生活が楽しい場となるよう努めた。

【施設関係者評価結果報告】
子どもの生活に応じた環境の在り方を考えながら、園の教育、保育目標のもと適切な園運営が行われており、子どもの健康、行事、日々の保育が行われているという評価をいただいた。
また、園児の地域行事への参加、卒園児の園行事への参加を地域の方々が温かく見守っているという話も聞かれた。園内での感染症対策がしっかりとされている点、お知らせボードを活用し、各家庭に流行している病気等の情報提供を行っている点も評価された。今後はメール配信も併用し、洩れのないようにして行きたい。来年度も園児や保護者とのコミュニケーションを深め、心に寄り添う保育を心掛け、地域の子育て支援にも積極的に取り組んで行きたい。

【総評】
園行事や地域行事への参加等、少しずつコロナ禍前の生活に戻り、開催することが出来た。
保護者の皆様からは、「親子で楽しむことが出来た」「成長が嬉しい」という声を頂いた。
今後の取り組みとして、子ども一人ひとりの育ちを温かく見守り、職員間での連携を深め保育内容の充実、環境構成、行事内容の工夫に取り組み、多様化する保護者のニーズに応え、教育保育理念に則り保育を推進していきたい。